

雲南市立病院の入院時包括同意—第2報：無資格 学生などの診療チーム参加への同意

無資格学生の診療チーム参加への包括同意

もり 森	わき 脇	よし 義	ひろ ¹⁾²⁾¹⁵⁾ 弘	おお 大	たに 谷	じゅん ¹⁾²⁾³⁾⁴⁾ 順	にし 西	ひで 英	あき ¹⁾⁵⁾⁶⁾ 明	
さ 佐	の 野	けい 啓	すけ ¹⁾⁷⁾ 介	せ 瀬	じま 島	ひとし ¹⁾⁸⁾ 斉	いわ 岩	さ 佐	じゅん 潤	じ ¹⁾⁵⁾ 二
おお 太	た 田	りゅう 龍	いち ¹⁾⁹⁾¹⁰⁾ 一	まえ 前	じま 島	さと 里	いし 石	はら 原	しのぶ ¹⁾¹²⁾ 忍	
まつ 松	い 井	ゆずる ⁵⁾¹³⁾ 譲		はっ 服	とり 部	しゅう 修	ぞう ⁹⁾¹³⁾ 三	はた 秦	かず 和	お 夫 ¹³⁾¹⁴⁾
はら 原	だ 田	まさ 正	とし ¹³⁾¹⁴⁾ 俊	いた 板	もち 持	さとみ ¹¹⁾¹³⁾ さとみ				

キーワード：包括同意，無資格者の診療参加，医療行為，医師法改正

要 旨

緒言：患者の臨床研究参加，余剰検体の流用，無資格者の診療チームへの参加(無資格者参加)に絞った入院時包括同意書(同意書)の職員アンケートから同意と同意書の課題を探った。

方法：アンケートの無資格者参加の部を分析。

結果：無資格者参加を妥当と考えた者は，同意書を見る前の事務職(事務)，医療技術部，看護師(看護)で約4割，見た後は妥当と思う者(58%，50%，54%)も思わない者も増加。説明は事務と看護が中心で，説明経験者の説明への自信は，看護で低かった(46%)が，職種を問わず妥当と思うか否かでは同等。説明への反応は，事務でその場の同意が得られ難かったが(36%)，全職員では，説明者が妥当と思い自信を持って説明した方が理解が得られた。

結論：同意書の職員への周知は可能で，同意書を見て考えるようになった。患者・家族も無資格者参加の説明や同意に抵抗なく，妥当と思い自信を持って説明された方が理解が得られ易かった。

Yoshihiro MORIWAKI et al.

1) 雲南市立病院経営会議 2) 同 外科 3) 同 事業管理者

4) 同 前院長 5) 同 整形外科 6) 同 院長

7) 同 耳鼻咽喉科 8) 同 小児科 9) 同 内科

10) 同 地域ケア科 11) 同 看護部 12) 同 事務部

13) 同 元経営会議 14) 同 元副事業管理者

15) 最上町立最上病院(R6.4.1より)

連絡先：〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町64-3

最上町立最上病院

1. は じ め に

既報¹⁾で示したように，当院では，患者の臨床研究への参加（以下，研究参加），余剰検体の臨床研究などへの流用（以下，検体流用），無資格者の診療チームへの参加（以下，無資格者参加）